

県立広島大学教員活動情報

所属学部等	保健福祉学部	人間福祉学科	専攻
職氏名	准教授	大下 由美	
専門分野	ヒューマンサービス	健康福祉	

1. 教育活動 (平成19年度)

(1)担当科目(学部)	フレッシュマンセミナー	社会福祉援助技術論A	社会福祉援助技術演習A	精神科ソーシャルワーク演習
	精神保健学	卒業研究	精神保健福祉援助実習	精神保健福祉援助実習
	(大学院)	精神保健福祉援助演習(女子大)	精神保健福祉援助実習(女子大)	
(2)教育関係 特記事項				

2. 研究活動 (平成17～19年度)

(1)論文等	児童養護施設で暮らす虐待された子どもへの効果的な処遇法 ナラティブ・アプローチ ソーシャルワーク研究 Vol.31, No.2 47-53頁。 執筆者：加茂陽・大下由美・前田佳代	平成17年7月
	Basic Skills Required to Change Complaints into Solutions in HIV Patients - A Case Study. 日本エイズ学会誌 Vol9. No.1 pp.54-57.	平成19年9月
	豊かなソーシャルキャピタルと縮小の危機 周防大島の高齢者の予備調査から 山口県立大学大学院論集 第8号 39-46頁。 執筆者：生田奈美可・大下由美・森口覚・小川全夫・田中マキ子	平成19年3月
(2)著書	「社会福祉領域における事例」 亀口憲治編 『心理療法プリマーズ：家族療法』、ミネルヴァ書房、193-207頁。	平成18年1月
	「被虐待児童への支援技法とその体系化」 加茂陽編 『被虐待児童への支援論を学ぶ人のために』 世界思想社 39-74頁。	平成18年6月
	「児童養護施設で暮らす虐待された子どもへの効果的な処遇法 ナラティブ・アプローチ」 加茂陽編 『被虐待児童への支援論を学ぶ人のために』 世界思想社 154-172頁。	平成18年6月
(3)学会発表等	Clinical Social Work Practice for the Patient with HIV Infection. 第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議(神戸)	平成17年7月
	ソーシャルワーク実践における問題定義と支援法についての考察 日本社会福祉学会 共同演者：加茂陽	平成17年10月
	ソーシャルワークの基礎理論と実践技術の体系化 日本社会福祉学会	平成18年10月
(4)工業所有権等		
(5)外部資金採択状況	科学研究費補助金(代表)	3件
	科学研究費補助金(分担)	件
	その他外部資金	4件
(6)研究関係 特記事項		

3. 地域貢献活動 (平成19年度)

(1)審議会等委員	中国・四国ブロックエイズ対策促進事業	H19.4～H20.3
	広島県臨床心理士会エイズカウンセラー派遣事業	H19.4～H20.3
	広島市エイズカウンセラー派遣事業	H19.4～H20.3
(2)公開講座等	薬剤師研修会講師	「HIV感染者への支援とコミュニケーション」、平成19年6月30日、広島市
	県立広島大学公開講座	「家族支援の基礎 理論と技法について」、平成19年7月28日、三原市
	高大連携授業	「家族支援の基礎」、平成19年8月8日、三原市
(3)地域貢献 特記事項		

4. 大学運営活動 (平成19年度)

(1)学内委員等		
(2)大学運営 特記事項		

以上は、主要な活動について掲載しています。